

2026年5月号

ニュースレター

Angie



被害を防ぐ力は、日々の中で育つ

木々の緑が日毎に濃くなり、毎朝通勤の電車の中から見える山々の緑が目覚ましてくれています。

今年12月25日から『子ども性暴力防止法（日本版DBS）』が施行されます。これは子どもへの性加害者が子どもに関する職に就くときに、過去に性犯罪歴があるかどうかを確認をとり、子どもへの性暴力を事前に防ぐシステムで、イギリスのDBSを参考にしています。

性犯罪歴を調べるだけではなく、各学校、施設において、子どもとの関わりの中で不適切な例（その職種に関係ない接触の仕方、今後性暴力に発展の恐れがある接触）を取り決めたり、職員研修や通報の仕組み等の整備が求められています。

性暴力が起こりやすい、また不適切な関わりを要因として、『閉鎖性、支配性、継続性』が考えられています。閉鎖性は、トイレや着替え時の2人っきりになる場所送迎時の車の中など。支配性は力の差がある状態で「怒られないように」など逆えない状況。継続性は毎回、長時間など、1回きりではない状態です。

このように、研修や制度の説明は教員や支援者向けで、ルールを決めることや性被害が起こってから仕組みづくりに要点が置かれているように感じました。また、子どもたちを守るための制度にもかかわらず、子どもたちへの研修がありません。

「自分の体は自分だけのもの。誰が、どこにどのように触るかを決めるのは自分」「嫌なときは嫌って言う。それを決めるのは自分。」これは『からだの権利』の一部分です。Angieの指導員は子どもたちに対して、生活の中でこのような『からだの権利』や、からだは全部が大切なところ、からだの名称、嫌な時は嫌って言う、など『包括的性教育』を基本として関わっています。指導員の勤務歴の差によって改善点はありますが、これが『当たり前』のこととして定着しつつあります。

先日、季刊誌「セクシュアリティ124号・障害児者特集」に、Angieの実践を掲載していただきました。それには、発語がない子ども服を引っ張られた時に「助けて」と、指導員のところ行き、一生懸命伝えた例などを執筆しました。「自分のからだは大切」という感覚は、短期間で身につくものではありません。日々の積み重ねで何年もかけてやっと、できることです。（実際、5年ほどかかっています）

これからも、Angieでは包括的性教育を基盤としながら、「自分のからだは大切、相手のからだも大切」と思える気持ちをしっかりと育てていきたいと思ひます。

郡 奈美

子ども性暴力防止法について詳しくはこども家庭庁のHPをご覧ください→



天竺のはらっぱ



GW恒例の「天竺のはらっぱ」へ、今年も5月6日に遊びに行ってきました。暑すぎず、外で遊ぶ

にはとても心地よい気候で、子どもたちものびのびと過ごしていました。天竺のはらっぱで遊ぶのも慣れていたもので、到着すると子どもたちはそれぞれ遊びたい場所へ向かっていきます。ハンモックやブランコはも

ちろん、大きな穴の中に入ってさらに掘り進めたり、木の根っこを掘ったりと、思い思いに夢中になって遊んでいました。

中でも盛り上がっていたのがスラックラインです。電線に止まる鳥のように、子どもや先生たちがスラックラインの上に立ち、バランスを取りながら挑戦していました。大勢で乗るとロープが前後に大きく揺れ、揺れるたびに声を上げながら楽しむ姿が見られました。

片づけをしている時には、「楽しかった〜!」「また来たいね」という子もいました。自然の中で思いきり遊び、子どもたちの笑顔がたくさん見られた一日となりました。

「子どもの偏食の原因と対応と将来への影響」開催しました。



令和8年度第1回目の研修を行いました。2025年6月14日の朝日新聞に藤井先生が大きく取り上げられているのを見て、以前偏食についての記事を読んだことを思い出しました。昨年8月には藤井先生が在住している広島で全障研の全国大会があり、そこで広島仲間をお願いして藤井先生と繋げてもらいました。突然の依頼にもかかわらず、講演を快諾してくださったことに感謝いたします。

Angieにも偏食で困っている子はたくさんいます。朝食から給食をほとんど食べずに来所する子や、年齢を重ねると（もちろん、学校の先生の工夫や努力もありますが）少しずつ食べられるようになる子もいます。療育には、まず『食べる、遊ぶ、寝る、出す』という生活の基本が整うことが大切だと考えています。

偏食には感覚的問題・口腔機能的問題・栄養量の問題が相互に影響しているということでした。ですので、偏食の原因を見つけていくことも難しいのだらうと感じました。また、発達とつながっているということでした。これは発達年齢が1歳過ぎごろから物の違いが分かり出すが故に、好き嫌いがはじまるということと重なり、発達年齢を参考に偏食に対応することに確信が持てました。その他、原因を把握することから、口腔機能、感覚、栄養状態の課題や家庭との連携などをお話して下しました。

118枚のボリュームタップリのスライドを1時間半で講演してくださり、情報で頭の中がパンパンの状態でしたが、今後の偏食で困っている保護者の方に少しでもアドバイスができれば思いました。



研修実施予定！申し込み受付中！

6/19(金)

障がいのある子どもに対する“どうして?”が“なるほど”に変わるとき～発達を知ると見えてくる子どもの思い～Part1

講師：松島明日香氏
(滋賀大学 教育学部准教授)

申し込みQR



※外部の方など、どなたでも受講可能です。詳しくはお問い合わせください。オンデマンド配信あり！

■場所：Angie事業所 ■時間：AM10:00～ ■参加費：徳洋福祉会利用者500円・外部の方1000円/1名
■申し込み・お問合せ：TEL(06) 6151-2996 Mail: kori@tokuyo.me 担当：郡

マスクについてお知らせ（再度）



クッキングをする際、マスクを着用する為に帳票袋にご準備頂きありがとうございます。なかにはマスクをお忘れの方もいらっしゃるAngieから提供しておりました。しかし提供枚数が増えてきましたので、昨年5月から1枚30円頂戴しております。Angieのマスクを使用した際は帳票にてお知らせいたします。誠に申し訳ございませんが、ご理解、ご協力を宜しくお願い致します。